

あ や け き

2014.SEP

No. 1

摂南大学広報誌 創刊号

特集

巻頭 摂南大学の特色ある取り組みをご紹介します! P. 3

巻末 数字で証明する「摂南大学の实力」とは P.17



摂南大学は、2015年に創立40周年を迎えます。

SETSUNAN UNIVERSITY 

学長挨拶

Setsunan University



学長 今井 光規
Imai Mitsunori

摂南大学は2015年に創立40周年を迎えます。本学ではこれを機に、卒業生・在学生・保護者・教職員の皆様、および本学に関心をお寄せ下さるすべての皆様に向けて、新しい広報誌『さやけき』を発行することになりました。学校行事や学生の皆さんに関係する様々な情報、あるいは、本学の取り組みなどを紹介し、本学の理解を深めていただくことを目的としています。これに伴い、従来の『摂南大学後援会報』は発展的に廃刊いたします。

本誌の特色は、教育理念や大学の進むべき方向など、本学の基本情報を提供するに留まらず、本学の長所や持ち味を探りながら、学部や部署ごとに新鮮なトピックスをお届けできることです。

本学は、1975年の創立時には工学部1学部のみでしたが、当初の計画通り、その後、着実に学部・学科を増設し、現在7学部13学科、および、大学院6研究科10専攻を擁する総合大学となりました。急激な変化が起こっている現代社会の要請に対応するため、本学は更なる改革を推進しています。摂南大学の特色のつは、すべての学部や部署が緊密な連携のもとに強力な「知のネットワーク」を構成していることです。

摂南大学の目指す方向性は、2012年制定の本学のタグライン「Smart and Human」に凝縮されています。「Smart」は賢く機能が高いこと、「Human」は人間性豊かなことを意味します。今日、世界も日本も、経済、エネルギー、資源、食糧、医療、災害、環境、紛争など、多くの困難な課題に直面しています。人類が「持続可能な社会」を築くためには、新しい知を開拓し、確固たる倫理観と豊かな人間性を発揮しながら、これらの課題に取り組まなければなりません。

グローバル人材の育成が急務となっている今日、視野の広さ、粘り強さ、人の痛みを感じ人を思いやる温かさ、そして揺るがぬ倫理性を身に付けることが、私たちのすべての活動の基となつていなければなりません。それには、自分の頭で考え、自ら行動する力を養うことが不可欠です。本学は、学生・教職員をはじめ、すべての関係者が自律性と社会的知性を高めるとともに、グローバル（グローバル×ローカル）な視点に立ち、大学・地域社会間を始め、各種の連携を基盤とする視野の広い循環型グローバル貢献を目指しています。

本誌発展のために、皆様からの忌憚のない建設的なご意見をお待ちしています。

目次

学長挨拶	2
摂南大学の特色ある取り組み	3
PBLプロジェクト	
地域との連携	
国際交流	
環境保全	

学園祭がスタート	6
学部トピックス	8
教育・研究支援	13
後援会	14
学費納入	14

入試インフォメーション	16
-------------	----

特集

数字で証明する摂南大学の實力	17
----------------	----

摂南大学の特徴ある取り組み

PBLプロジェクト

PBLとは一般に医学系では「Problem-based Learning」、理工系など経営系では「Project-based Learning」と表現されています。日本語訳では、前者は「問題に基づく学習」あるいは「問題発見解決型学習」、後者は「プロジェクト・ベース学習」あるいは「プロジェクト体験型学習」などの用語が使われています。

本学では2010年度から文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」学生支援推進プログラムの採択を受け、PBLプロジェクトを本格的にスタートさせました。本学の教育理念である「自ら課題を発見し、そして解決することができる知的専門職業人の育成」を実践するためのプログラムです。一定期間内にプロジェクトの目標を達成するため、学生が自ら課題を発見しプロジェクトのメンバーと協働して、課題の解決に取り組む創造的、社会的な学びである点が特徴です。

本学においては、2010年度は5プロジェクト、2011年度は9プロジェクト、2012年度は11プロジェクト、2013年度は14プロ



ジェクトを実施し、4年間で延べ約690人の学生が活動しました。なお、2014年度は12のプロジェクトが進行しており、178人の学生が活動しています。年を重ねるとともに充実し、より多くの学外機関からご支援・ご協力をいただけるようになりました。ご支援いただいた学外機関の方からは、2013年度の最終報告会において、多くの感想や励ましのお言葉をいただきました。

本学のPBLプロジェクトはさまざまな人が興味を持つことができる内容となっています。また、実際にプロジェクトに取り組んだ学生の感想からも、内容の充実ぶりと成長のうかがうことができます。

大学としては学生にさまざまな学びの機会を提供し、経験を積んでもらうことにより、主体的に行動する力を身につけてもらいたいと考えています。

PBLプロジェクトに取り組んだ学生の感想

- 自分たちで実験を行ったり話し合いをすることで、何事にも積極的に取り組む姿勢が身につきました。
- PBLプロジェクトで友人が増えました。
- 同じプロジェクトのメンバーだけでなく、報告会を通じて別のプロジェクトのメンバーとも仲良くなり、学内で声をかけて話すようになりました。
- 目標に向けてグループで活動するための協調性や計画性など、社会で必要とされる人間力が成長したことを実感しています。

PBLプロジェクトに対する学外機関の方からのコメント

- 学生の企画力、コミュニケーション力がアップしたと感じました。
- イベントを一から学生さんの手作りで進めていった様子がよくわかりました。
- 学生ならではの行動力を感じました。プロジェクトを継続してほしいと思います。

●2014年度PBLプロジェクト一覧

No.	プロジェクト名称
1	寝屋川市と米国ニューポートニューズ市の姉妹都市交流支援プロジェクト
2	映画製作（－摂南大学と地域連携－）
3	地域! 事業! 変化! －地域を起点に事業を起こし、世界と自分に変化をもたらす－
4	寝屋川市における環境学習支援と淀川水系を中心とした流域連携プロジェクト
5	過疎地域におけるグリーンエネルギー活用プロジェクト
6	ミニ鉄道プロジェクト
7	すさみ町における過疎地域活性化支援プロジェクト
8	交野市の活性化
9	地域^3+自分－「地域」に行き、「地域」を知り、そして「地域」と「自分」について考える－
10	こども株式会社の設立と経営
11	北河内における近郊ツーリズムの開発「交野のみの」を関西のふるさとにしよう
12	紙芝居ボランティアを通じた社会貢献

地域との連携活動

地元企業エクセディ主催の夏祭りでもミニSLを運行

No.6
活動報告

株式会社エクセディ主催の夏祭りに、本学学生によるPBL「ミニ鉄道プロジェクト」が出席依頼を受け、学生10人が8月29日、ミニSL（5インチスケールの蒸気機関車）を運行。雨の中、スタートから閉会まで子供達を客車に乗せ、祭りを盛り上げました。乗車待ちで長蛇の列を作るほどの盛況ぶりに、学生達は休憩を取ることも忘れ「小さな乗客」の安全確保のために奔走しました。



すさみ町の伝統行事「佐本川柱松」の継承に協力

No.7
活動報告

学生50人は8月17日、本学が包括連携協定を結ぶ和歌山県すさみ町の活動拠点（旧・佐本小学校）において、同地域で220年以上続いた無病息災を願う伝統の盆行事「佐本川柱松」に今年も協力しました。高齢化や過疎化などにより継承が危ぶまれていた中、2012年に本学の学生が地元の保存関係者の指導を受けて復活。祭りの準備としての巣づくり、松明づくり、柱立てなどに挑戦しました。また、今年は、あいにくの雨天の中、佐本川盆踊り（扇踊り）復活にも協力しました。



地域との連携

交野市教育委員会とのコラボレーション「中学生理科セミナー」を開催

青少年の理科離れが指摘される中、交野市内の学校でも科学部や生物部などのクラブ活動に参加する生徒が減少しています。こうした状況を解消する一助として、本学理工学部生命科学科では、交野市教育委員会との協働事業として、7月5日から7カ月間、計10回の「中学生理科セミナー」を開催します。本学の教員（松尾康光教授、尾山廣教授）と理科教員を目指す学生が、地元の中学生を対象に理科の実験教室を昨年に引き続き実施しています。

門真市の児童とともに地域文化を創造

学生20人は、8月3日に開催された門真市砂子校区の夏祭り（実行委員会委員長・浦田利八・大阪府営三ツ島住宅自治会長）で、昨年復活の山車の曳き廻しを大阪国際大学の学生と連携して実施。新しい文化を校区の子どもたちに伝えました。

親子で学ぶ夏休みパソコン教室を開催

情報メディアセンターと地域連携センターは8月6日と8日、「家族の思い出写真を映画のワンシーンに」をテーマとした「親子で学ぶパソコン教室」を開催しました。このイベントは、交野市との包括連携協定に基づく地域連携事業の一環として市民のIT技術向上を目指すもので、今年で8年目の開催となりました。

国際交流

夏期短期海外派遣プログラムのご紹介

摂南大学では、夏期休暇中の海外短期派遣プログラムとして、外国語学部が同学部の学生向けに英語・スペイン語・中国語および他のアジア言語の語学実習を海外の協定校にて実施しているほか、国際交流センターが、外国語学部以外の学生向けに英語圏での語学研修を実施し、全学生向けに韓国・タイ・インドネシア・アメリカへの文化体験を中心とするプログラムと、薬学部生向けにベトナムでのプログラムを提供しています。今年度は国際交流センター主催のプログラムに合計44人の学生を送り出しました。

国際交流センター主催の2014年度夏期プログラム一覧

	ベルビュー大学 語学研修 (アメリカ)	シアトル研修 (アメリカ)	大田大学校 (韓国)	泰日工業大学 (タイ)	インドネシア 研修	ベトナム国立 薬用天然物 研究所
実施期間	8月17日～ 9月2日 (17日間)	8月22日～ 8月31日 (10日間)	8月11日～ 8月31日 (21日間)	8月21日～ 9月1日 (12日間)	8月18日～ 9月3日 (17日間)	8月16日～ 8月22日 (7日間)
研修内容	ホームステイしながら、大学のESLコースで2週間集中的に英語を学習、ディズニーランドへの小旅行	午前中は日常英会話の学習、午後は街へ出て実践。日系高齢者施設へ慰問、シアトル観光、MLB観戦など	韓国語基礎講座（レベル別）と韓国文化クラスの受講と文化体験、ソウル観光	タイの歴史と文化の学習、学生交流や日系企業訪問など	LIA外国語大学でインドネシア語初歩の学習、学生交流や摂大OBの働く企業訪問など	ベトナム国立薬用天然物研究所でラボ体験、研究者との交流、ベトナム文化体験、世界遺産観光など
対象学生	外国語学部以外 学生で2年次以上	全学生				薬学部生
参加費	464,205円	297,263円	47,350円	77,780円	252,740円	80,620円
参加者数	4人	14人	7人	5人	5人	9人
共同実施	大工大 広国大	大工大 広国大	大工大 広国大	大工大	—	—



2013年度海外派遣プログラム成果報告会の様子

海外研修に参加した学生は、海外生活を大いに満喫して全員元気に帰国しました。それぞれ自分の中の小さな成長を感じ取っているようです。これをきっかけとして、大きな成長を遂げてくれることでしょう。

国際交流センターでは、より多くの学生に海外体験による成長のきっかけをつかんでもらうので、費用を抑えながらも満足度の高いプログラムを提供しています。また新規プログラムの開発にも取り組んでおり、2015年2月にはメキシコと台湾での語学と文化体験のプログラムを実施する予定です。ぜひ今後発行のプログラム案内をご覧ください。

環境保全

スマートキャンパスづくりへの取り組みについて

摂南大学は、本学の学生・教職員がスマートキャンパスづくりに取組むことを通じて、持続可能な社会の実現に貢献し、大学の社会的責任を果たすため、スマートキャンパス推進プロジェクトを立ち上げ、「摂南大学環境方針」を定めました。

本方針は、学校法人常翔学園行



講演中の北川環境副大臣



講演後、学生から花束贈呈

7月16日には、北川知克環境副大臣をお招きし、「地球環境と共生社会の担い手として」と題した講演会を開催しました。本講演は、大学の構成員（教職員・学生）として環境保全活動を行うついでに自覚のための教育の場としても有効なものとなりました。

動規範にある「地球環境の保全」に基づくほか、本学のタグラインである「Smart and Human」に掲げる取り組み姿勢を反映させたものです。

そこで、この環境方針に基づき、環境に配慮した教育研究活動（事務部門における活動支援を含む）を実施するため、部門ごとに環境目標および実施計画を設定し運用を始めました。

6月には環境省が定める「環境月間」にちなんで、車で来学される方に環境保全に対する理解を深め、積極的に環境保全活動を行って

いただくため、構内駐停車時のアイドリングストップや学外でのエコドライブを呼びかけました。

また、環境省主催「CO2削減／ライトダウンキャンペーン」に参加（夏至の日…6月21日、七夕…7月7日）し、電気を消すことでいかに照明を使用しているのかを実感し、地球温暖化問題について考える機会となりました。

これから摂南大学は、総合大学の特徴を活かした知のネットワークの機能を最大限に発揮して、スマートキャンパスづくりを積極的に推進します。

エコシビル部が「おおさか環境賞」大賞を受賞しました

豊かな環境づくり大阪府民会議主催の平成26年度「おおさか環境賞」について、本学文化会エコシビル部が大賞を受賞しました。

エコシビル部は、本学近くの淀川水系を中心に、天若湖アートプロジェクト「発表会スタッフとしてイベントなどを行うほか、Eボート（10人乗り手漕ぎゴムボート）の乗船体験を通じて地域住民や子供たちに川の楽しさや怖さを体験させる活動、河川の生態系や生物多様性の保全活動などを行っています。

同賞の審査委員からは、「学生自身が主体的に参画し、各種団体との連携を深めながら年間40回を超える親水活動や環境保全活動に取り組む、活動が地域社会に広く普及している点が高く評価できる。また、ボートの乗船体験等の活動を通じて、地域住民や子どもたちに対して社会に貢献できる人材育成に寄与している点も非常に優れている。」とのコメントがありました。



大阪府の小河副知事と記念写真を撮るエコシビル部部長小野裕基さん

国連アカデミック・インパクトに参加しました

5月29日、本学はタグライン「Smart and Human」の精神に則り、地球規模の課題解決に取り組む決意を示すために、国連アカデミック・インパクトに参加しました。

国連アカデミック・インパクトとは、2009年より本格化した国連と高等教育機関を結びつけるグローバルな取り組みで、参加大学は「人権、識字能力、持続可能性、紛争解決」の分野における普遍的な10原則のうち毎年少なくとも1つの原則を積極的にサポートする活動が求められます。この中で、本学は「原則9…持続可能性を推進する」「原則10…異文化間の対話や相互理解を促進し、不寛容を取り除く」の2つを中心に活動を行うことを表明しました。

本学ではすでに、近畿水環境交流会や北川環境副大臣の講演会を実施するなど、地球規模の課題解決に向けた取り組みを開始しています。今後とも、これらの精神に則った諸活動を展開していきます。



近畿水環境交流会にて

学園祭がいよいよ開催！

学生が運営するビッグイベント、
摂大祭（寝屋川キャンパス）・摂友祭
（枚方キャンパス）を今年も開催し
ます。

創意工夫を凝らしたステージ企
画、模擬店出店や子どもが楽しめる
企画など、子どもから大人まです
べての方に楽しんでいただけること
間違いなし！ご家族やご友人とのご
来場をお待ちしております。
なお、ご来場は公共交通機関を
ご利用ください。

寝屋川キャンパス

第39回摂大祭
10月11日（土）～13日（月・祝）
今年のテーマは
「Price（プライス）」

摂大祭当日のさまざまな企画、
各団体による模擬店、キャンパス内
を華やかに彩る多くの装飾。その二つ
ひとつが摂大祭を作り上げるため
の大切なピースであること。また、
摂大祭に遊びに来てくださる地域
の方々や学生、摂大祭スタッフ、みん
ながピース（平和）であふれる摂大
祭になつて欲しいという摂大祭実行
委員会の願いが込められています。

枚方キャンパス

第3回摂友祭
10月12日（日）
今年のテーマは
「SYS（START YOUR STORY）」

サブテーマの「START YOUR
STORY」は、来場された方々や企

画した学生達の新たな発見や成長
を導きたいという摂友祭実行委員
会の決意を表しています。
また、摂友祭の摂（Setsu）友（Yu）
祭（Sai）の頭文字でもあります。
摂友祭の特徴である「医療系企
画」を今年も充実させ、地域の方と
の交流を図ることを目指します。



▲ステージでは立ち見
が出るほど大盛況



今年もセツコレ▶
開催します

Camp

新入生ふれあいキャンプを
開催しました。

宇治市総合野外活動センターア
クトバル宇治にて、新入生ふれあい
キャンプを実施しました。新学期恒
例行事で、今年は4月26日・27日と
5月10日・11日の2回、いずれも1
泊2日で実施しました。入学後間
もない新入生がスムーズな学生生活
をスタートするための一助として、野
外活動などを通して、自己や他者に
対する信頼感を深め、成熟した人
間関係を構築するきっかけづくり
を目的として実施しています。

このキャンプは、文化会系クラブ
「ボランティアスタッフズ」の学生ス
タッフが、準備から運営までほぼ全
てを担当する、他大学ではあまり
例のない、特色のある取り組みで
す。学生スタッフたちは、この日のた
めに、6ヶ月もの時間を費やし準備
をしてきました。
最初は緊張気味であった新入生
も、様々な活動を通じて徐々に打
ち解け合う姿が見られ、キャンプ
終了時には、「めっちゃ楽しかった。」
「みんなで協力して成功した時の
喜びを知った。」「学部を越えて友
達が多かった。」「来年はスタッフとし
て参加したい。」といった声が寄せ
られ、大変有意義なキャンプとなり
ました。



みんなで力を合わせれば解決できる！



カレー作り大成功！

第1回 学長表彰実施

7月22日に寝屋川キャンパス、7月31日に枚方キャンパスで学長表彰を実施しました。

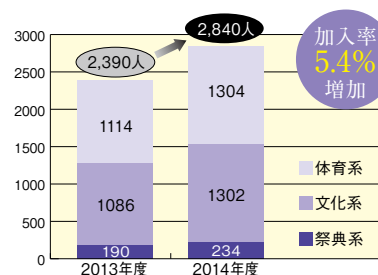
ボランティア スタッフズ	2014年3月10日追手門学院大阪城スクエアで行われた、「平成25年度合同フォーラム・みんなであつこう明日の人材」においてグランプリを受賞
	2014年4月23日、「産経新聞」に和歌山県すさみ町や青年海外協力隊でのボランティアスタッフズの活動が掲載
外国語学部 所属学生	2014年2月19日、マレーシアの全国紙Berita Harian紙において留学中の課外活動としてkhat（マレーシアの書道）への取り組みが掲載
経済学部 植杉ゼミ	2014年3月14日財務省財務局主催の2013年度第3回財務局学生論文コンテストにおいて優秀賞を受賞
薬学部 所属学生	2014年5月14日～16日京都大学で行われた、「第23回環境化学討論会」において最優秀学生賞を受賞
	2014年3月30日～31日熊本大学で行われた、「日本薬学会第134年会」において優秀発表賞を受賞

Activity

課外活動団体 部員増加中！

現在、摂南大学の課外活動団体は体育系39団体、文化系30団体、祭典系4団体の計73団体に2840人の学生が所属しています。

今年度は部員の減少により休部していたスキー部とE.S.S.同好会が活動を再開、また就職活動の準備や後輩のサポートを行う「就職活動準備会(Chanomile)」と幅広くボランティア活動を行う「ボランティア部じよいふる準備会」が新規結成し、課外活動はますます盛り上がりを見せています。



▲ノリのいいサウンドで
新入生を魅了

◀放った矢が的に命中！
観客から拍手喝采
(写真はいずれも新入生歓迎行事にて)

Library

ビブリオバトルの開催

「本を通して人を知り、人を通して本を知る」

近年、スマートフォンなどの普及とともに学生諸君の読書離れ現象が顕著です。全国の大学生対象調査では、1日の読書時間は平均26.9分で、読書時間ゼロの学生は40.5%に達したといわれています。

そこで図書館では今年の目標として学生諸君に楽しい読書を啓蒙できる手法として「ビブリオバトル」の普及を図っていきたく考えています。

「ビブリオバトル」とは「知的書評合戦」と称されます。ルールの概略は、参加者が面白いと思った本を持って集まり、順番に二人5分間で本を紹介し、参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分行います。

全発表の終了後、「どの本が一番読みたくなかったか」を基準として、聴衆を含めた全参加者が投票し、最多票を集めたものを「チャンプ本」とするということです。

「ビブリオバトル」で最も重要なことは「本を通して人を知り、人を通して本を知る」ことで、これに参加することにより、他の人



▲優勝した大久保さんの発表



▲参加バトラーと福田図書館長

を通してその本に出会い、自分の知的好奇心や知識欲が掻き立てられることです。同時にその本を通して他の人の考え方をすることもできます。つまり、本を通じてコミュニケーションを深めるのにもとても大きな効果があるのです。

図書館では第1回「ビブリオバトル」を7月18日に開催しました。今回は4人のバトラー（本の紹介者）が登場し、その書評を競い合いました。全発表が終了した後、聴衆による投票が行われ、栄えある第1回のチャンプ本は経営学部2年生の大久保瑞紀さんの「学校では教えてくれない！国語辞典の遊び方」（サンキョータツオ著・角川学芸出版）に決定しました。

図書館では今後も継続的に「ビブリオバトル」を開催する予定で、秋には全国大会（12月）への出場権をかけた地区予選会への出場を獲得する予選会も兼ねた大会を開催します。

法学部

Faculty of Law

法学部

外国語学部

1年次対象「自主勉強会」を開催しています

法科大学院、国家公務員一般職、地方上級（都道府県、政令指定都市）公務員を目指す学生を対象に毎週1回昼休みを利用して法学部教員による自主勉強会を開催しています。

勉強会の趣旨は、難関試験に必要な憲法・民法の基礎的知識を1年生のうちにしっかり身につけることで、最初の目標は、来年の行政書士試験に合格することとしています。

熱心に学習に取り組む学生たち



七夕川柳コンテストを開催しました

法学部生で組織する法学部企画運営委員会による七夕川柳コンテストを開催しました。

法学部キャリアルームに笹を用意し、短冊に川柳を書いてもらいました。法学部企画運営委員会は、法学部生ならば誰でも参加できます。さまざまな行事を企画し法学部キャリアルームを拠点として活動しています。



法学部企画運営委員会の学生諸君

大賞を受賞した
松浪裕貴さん
(1年)

Faculty of Foreign Studies

外国語学部

イベント案内

◆英語教育フォーラム

日時：11月18日 火 13:30開始予定

場所：摂南大学寝屋川キャンパス

552教室

講師：世界中で英語落語をご公演

されている桂かい枝さんをお招きします。

◆外国語学部国際教養

セミナー「酒の文化史」

日時：12月6日（土）14:00

（開場13:30）～16:30

場所：大阪市立住まい情報センター

3階ホール（地下鉄「天神橋筋六丁目」駅すぐ）

テーマ：「酒の文化史」

◆インドネシア・マレー語コース

4月17日、本学協定大学のマレーシア国民大学経済経営学部との学生



書道体験をするインドネシアの中学生（右）と本学学生

団体が来学し、キャンパスツアーなどの交流イベントを開催しました。

6月17日、国際ボランティア活動を行っている、インドネシアの中学生が来学し、学内で書道体験をし、時刻には本学学生と大阪観光に出かけました。

後期には、10月30日から約1週間、本学協定大学のインドネシアストモ博士大学学長行が来学し、さまざまな交流イベントを行う予定です。

◆スペイン語コース

「平成26年度官民協働海外留学支援制度「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」の第1期生として、2年生の出水宏輝さんが見事合格しました。フラメンコのバイラオール（舞踊家）として「多様な人材コース」で選考され、手厚い支援を受け9月から1年間、スペインに留学中です。

2013年10月実施の文科省認定「スペイン語検定」において、3年生の武本みくさんがスペイン留学の成果をあげ、3級（英検なら準1級に相当）に合格しました。武本さん

◆中国語コース

中国料理でまず頭にかぶるのは餃子でしょうか。でも中国で食べられるのは主に水餃子で、日本人がよく知る焼き餃子とは別物です。中国語コースでは前期の学期末に恒例行事として水餃子を作って食べるギョーザパーティーを開いています。具をきれいに包むのは少し難しいですが、湯の中でほどけなければ無問題。中国人留学生やネイティブ教員とも自然に話が弾みます。水餃子の味も格別ですが、ユニークな形を競うのも楽しみの一つです。



出水宏輝さん

経済学部

Faculty of Economics

■企業との連携教育を推進 ～実社会から学ぶ経済学～

経済学部では、今年で4年目となるプロ野球・オリックス野球クラブ(株)との連携授業が開講されました。

今回は、例年開講の「ベースボールエコノミクス」に加え、ゼミ研究において『オリックス・バファローズが地域にもたらす経済効果』と題した研究課題にも取り組んでいます。いずれも球団職員によるレクチャーのほか、京セラドームでの調査を9月6日に実施。試合のチケット価格に関する調査を通じて、需要の価格弾力性という経済理論を理解するとともに、チケット、飲食などの収入や、イベント企画、広告宣伝など球団経営の課題等を抽出し、データ分析による経済効果を推計していきます。このほか、夏期休暇中には藤田観光(株)との包括協定による長期インターンシップを実施。京都国際ホテルやホテル椿山荘東京、箱根ホテル小涌園等で約

1カ月間の就業体験を行いました。こうした現場のプロフェッショナルと触れる経験は、学生らにとつととても刺激的で、経済学部では実社会から学ぶ経済学を展開しています。

■経済学部生が『財務局学生論文コンテスト』において2年連続入賞

財務省では財務局行政の分野に関心を持つ学生を対象に、平成23年度から論文コンテストを実施しています。本学経済学部では、第1期生が平成24年度の初応募にて「最優秀賞」を受賞、続いて平成25年度には第2期生が「優秀賞」を受賞し、2年連続の快挙となりました。全国の国公私立大学の学生が応募した中、いずれも高い評価を受けました。引き続き、平成26年度のチャレンジに向け、後輩たちは意欲的です。

京セラドームでの調査

期インターンシップを実施。京都国際ホテルやホテル椿山荘東京、箱根ホテル小涌園等で約

平成25年度受賞学生
(4年次/森一輝さん、植田凌さん、尾崎瑠璃さん、関本晴生さん)



Faculty of Business Administration

経営学部

■再び母校で学ぶ 情報メディアセンター

橋本はる美さん

経済学部の完成年度にあわせて、今年4月に大学院経営情報学研究科博士前期課程が経済経営学研究科修士課程に改組されました。1995年に開設された経営情報学研究科博士前期課程(開設時は修士課程)の最後の学生となった本学部の卒業生を紹介します。

史を専門に学び、また卓球部に所属し充実した大学生活を過ごしました。ちなみに先輩だった現在の旦那様(本学工学部土木工学科卒)と友人の紹介で知り合ったのも学生時代のことです。卒業後はユニバーサル証券(株)勤務を経て、教育系技術職員として摂大に戻り、本学の情報教育、特に低年次生の情報基礎教育に携わってこられました。

eラーニングなど情報技術を活用した教育を実践するなかで、コンピュータに苦手意識を持つ学生に対する教育支援の必要性を強く感じ、そうした学生への教育効果を高める手法について研究するため大学院に進学、大学での勤務を続けながら情報科学専攻の堀井千夏教授のもとで研究を進め、修士論文「教育・学習モデルに基づいた事後教育支援手法」を完成させました。

Wordの操作を指導する橋本さん



「私の学生時代は、少人数教育といえど3年生から始まるゼミしかありませんでした。今の学生さんは、

入学直後の1年前期から基礎ゼミが導入され、きめ細かな指導が行き届いており、またパワーポイント等を活用してプレゼンテーションする機会が多く設けられるなど、教育環境が充実し非常に恵まれていると感じます。学部の雰囲気も当時は男子学生が中心でしたが、今は女子学生も増え、華やかな雰囲気になり随分変わりましたね。大学院で研究したことを実践して、後輩たちの教育環境をさらに良くしていきたいと思えます」と話す橋本さん。

■学部長表彰制度を新設 ―公的資格取得支援を充実―

経営学部では、資格試験の受験料補助など公的資格の取得を支援してきましたが、今年度から新たに学部長表彰制度を設けて支援の充実を図っています。対象となる資格(試験)はTOEIC600点以上と税理士試験1科目合格で、すでに1人が表彰基準をクリアしており、後日表彰式を行う予定です。

特色ある学び

理工学基礎実験

本学独自の初年次授業科目

理工学部新入生全員が、科学者・技術者の卵として、科学や物理の基礎的な理論を座学でなく実験を通じて体感し、理解を深める必修科目です。教員や大学院生の指導を受けながら、実験の仕方、結果の見方、レポートの書き方などについて訓練を受けます。共同体験型の授業を通じて、友人づくりや多くの教員、大学院生を知る絶好の機会になっており、大学での居場所づくりに役立っています。

理工学基礎
実験テキスト

日本技術者教育認定機構

JABEE 認定の
技術者教育プログラム

国際標準の教育内容と水準

理工学部6学科のうち工学系の学科は、日本技術者教育認定機構による教育プログラムの認定を受けています（都市環境工学科・建築学科・機械工学科は認定済、電気電子工学科は本年申請予定）。認定学科は、教育の内容が国際的に通用する教育プログラムであると保証されます。プログラムの修了生は、卒業時に技術士の第一次試験が免除される「修習技術者」の資格が取得できます。



EMaT 工学系数学統一試験 数学と英語の徹底教育

ETS TOEIC 習熟別クラス編成

入学時から習熟別クラス分けを行い、演習や個別指導などを通じて実力向上を図ります。「数学」では、独自の自主学習用ワークブックの活用、工学系数学統一試験（EMaT）のレベル向上を目指した教育を行っています。「英語」では、理工学部指定の英単語帳による徹底した単語学習から始め、定期試験における統一英単語テスト、TOEIC Bridgeのスコアを実施するなど、TOEICの高得点取得を目指します。



単位認定8割ルール

厳格な成績管理で教育の質保証

理工学部の講義科目はすべて、定期試験で優秀な成績をとっても、出席率が8割未満の場合、単位として認定しません。こうした厳格な成績管理は、社会から教育の質保証として高く評価されています。

成績優秀者は
大学院学内進学で推薦

就活に煩わされることなく6年一貫で教育研究

成績優秀者（GPAポイントで評価）については、更なる高度の教育・研究指導へ途を開くため、本学大学院に推薦します（学内進学制度）。

他学科の
ことも
学ぼう

科学技術教養

ユニークな学科間連携

3年生全員が、自分が所属する学科以外の学問の内容（当該分野の科学・技術の枠組み。基本原理から最先端の科学・技術、将来の動向まで）を科学技術者として学ぶべき常識として勉強し、幅広い知識を身に付けます。



海外インターンシップ

国内外のものづくり
インターンシップ

グローバル企業との連携

パナソニック（株）人材開発カンパニーと提携して、新入社員教育と同じメニューでインターンシップ教育と実習を行い、ものづくり企業の体験を行います。また一部は海外に進出している日系企業や現地企業に派遣して、海外でのものづくり体験を行います。



すべての授業を公開

不断の授業改善、教育改善に

理工学部では、開講しているすべての授業を教職員が見学できるようにしています（前期・後期各1ヶ月）。教育内容を公開するだけでなく、教員相互の授業見学により授業改善に繋げています。





1号館1階ロビーに展示された学生たちによる造形演習作品

■建築学科の伝統あるデザイン教育

「造形演習」作品展覧会

建築学科では設計演習をはじめ様々なデザイン教育に力を入れています。なかでも造形演習は30年以上続く伝統ある演習科目です。これらの教育が徐々に実を結び、近年では卒業設計コンクールや設計コンペでの受賞が相次いでいます。デザイン教育の成果は、毎年2月に開催の「建築学科作品展」のほか、随時、展覧会をととして学内外のみならず紹介しています。今年6月には「造形演習作品展覧会」を開催し、チームで制作した作品を多くの方々に見ていただきました。

■住環境デザイン学科第1期生卒業

「第1回卒業研究発表展」を開催！

住環境デザイン学科の1期生は、積極的な活動によって就職・大学院進学を早期に決定し、2014年3月、社会に旅立ちました。先立つ2月には「第1回卒業研究発表展」を開催し、4年間の研鑽の結晶を学外に広く発表しました。会場は、プロデサインナリたちが活用する洗練された水辺のギャラリー・大阪・中之島バンクスの学生たちは、建築環境に関する論文



「第1回卒業研究発表展」にて自分の研究をプレゼンテーション



川の見える展示室に模型を展示

ポスターや空間デザインの図面模型を協力しあつて展示・運営し、多くの方から賞賛を頂きました。

■「大学院生命科学専攻修士課程」新設

「学部からの一貫教育・研究の実現」

生命科学科の大学院・生命科学専攻修士課程が本年度よりスタートし、生命科学科からの継続的な教育・研究ができるようになりました。生命科学専攻では、「生命機構の真理の追究」を基本理念に、創薬、医療、環境、食品の各分野をより深めるための教育・研究を展開します。学部で培った力をより高度な研究や開発能力へと発展させ、バイオサイエンスに関する最新知識を習得し、総合的に「生命科学」を捉える人材を育成しています。現在、更に博士課程の設置に向け準備中です。



■摂南大学土木会（学科の卒業生の会）は創立50周年を迎えます

前身である大阪高専土木会が1964年に発足し（1978年に摂南大学土木会へ移行）、今年に創立50周年の節目の年になり、秋には記念総会も開催されます。現時点で3400人以上の摂南大学土木会所属の同窓生が社会で活躍され、学科にも多くのサポートをいただいています。例をあげると、毎年9月に実施している現場見学会の見学先の紹介や2年に1度開催の学生向けの講演会の主催などがあります。さらに、卒業式当日の卒業祝賀会（写真では、毎回、土木会の会長からご挨拶とお祝いをいただいております。このように、摂南大学土木会のご協力により、実施できている学科行事が多数あります。卒業生のみならずおかれましては、今後ともかわらぬご支援をお願い申し上げます。ご発展をお祈りいたします。



2013年度都市環境工学科卒業祝賀会の様子

薬学部

Faculty of Pharmaceutical Sciences

薬学部

看護学部

■海外企業との共同研究、ポスドクの受入れ等について

現在、薬剤学研究室では、デンマークに本社を置く大手製薬企業のノボルディスク社と、「インスリンの経口投与製剤の開発」に関する共同研究を実施しています。また、この研究を遂行するため、ノボルディスク社からポスドク研究員（オーストリア出身、女性）を受入れています。

彼女を中心に研究室の学生がチームとなり、将来、本研究成果が糖尿病患者さんのQOL (quality of life) の改善に貢献することを夢見て日夜研究に励んでいます。

■新人薬剤師・薬学生学習支援アプリ開発

薬学教育が6年制になり、より医療現場に即した教育が実施されるようになりましたが、学生にとって、

医薬品の「成分名」と医療現場で主に使用される「商品名」を一致させることは苦



手なようです。そのため、成分名と商品名を学生が考えた語呂合わせのヒントで関連付け、実際の医薬品の外観写真を確認しながらゲーム感覚で学習できるカルタ形式の学習支援アプリを開発しました。

■チーム基盤型学習 (TBL) について

椅子に座って講義を聴くだけではつまらない。気軽に質問ができない。覚えたことを使わないから身に付かない。薬学部では、こういった従来の講義型教育の問題点を解決する「チーム基盤型学習 (Team-based Learning, TBL)」を1年生から導入しています。4〜5人の

チーム基盤型学習の授業の様子



チームがそれぞれ予習をし、力を合わせて課題に取り組み、他のチームと競う中で、自ら学び、お互いに教え教わる経験を積んでいきます。その中で、誰もが成長をすることができると期待されています。

■薬用植物園について

摂南大学附属薬用植物園は、薬学部の教育・実習および研究を目的に運営されており、温室のある標本園と、樹木園Ⅰおよび樹木園Ⅱの3箇所で開催されています。現在、温室の建て替え工事を行っており、10月末には新しい温室が竣工予定です。また、地域連携活動の一環として、年に3回（春・夏・秋）薬草見学会を開催しており、秋の見学会は11月8日に開催予定です。



薬草見学会の様子

Faculty of Nursing

看護学部

■薬学部と連携した特色ある看護教育を展開

看護学部では、薬を理解した実践能力の高い看護職者の養成を目指し、薬に関連した授業を多く取り入れるなど特色ある教育を展開しています。例えば、前期に開講した3年次対象の「病院薬学演習」では、医薬品の調剤や管理方法、注射剤混合調剤方法などを習得するための演習のほか、患者に投薬内容を指導する場面のロールプレイを併せて行い、薬剤や薬物治療中の患者さんに積極的に関わりとうとする姿勢や安全な医療を提供できる看護師の素養を養っています。

3年次生はさらに「臨床看護学演習Ⅰ・Ⅱ」において、薬学部生と合同演習を前期に実施。模擬カルテを読み取り看護計画や薬物治療計画を立案したり、クリニカルパス（治療計画表）を作成したりする中で、チーム医療を体感考察しました。

■現役看護師を招いて、キャリア形成支援のための課外セミナーを開催

1年次生を対象に前期開講しているスタートアップセミナーにおいて6月24日と7月8日の両日、早期の段階で自らのキャリアプランを形成できるように支援するため、連携協定を締結している4病院の現役看護師の方々に講演いただきました。1回目は臨床2年目の看護師を招き、新人看護師としてどのように仕事に取り組まれたかなど就職後の自分の姿がイメージできるお話を、2回目は認定看護師の資格を持つなど経験豊富な看護師を招き、仕事の魅力や就職してからどのようにキャリアを積んでいったのかなどのお話をいただきました。学生からは「患者に寄り添える看護師になりたい」「今学んでいることが大切だということが分かった」という感想が寄せられ、大学と臨床を結ぶセミナーとなりました。



現役看護師を招いてのセミナーの様子

情報教育支援



◀情報処理室

情報メディアセンターはICT(情報通信技術)を活用するための情報教育施設を備えています。寝屋川キャンパス(10号館内)には、大小8室からなる情報処理室に約610台のPCを、枚方キャンパス(5号館内)には、2室の情報処理演習室に約260台のPCを設置し、専用スタッフを配置して情報教育を支援しています。枚方キャンパスにある薬学部では、年に一度、参加型実習を行う薬学生の知識や問題解決能力を評価する薬学共用試験C B T(Computer-Based Testing)が行われており、情報処理演習室がその試験会場となっています。

さらに、寝屋川キャンパス(10号館内)に語学教育施設としてCALL教室4室(PC約230台)と小スタジオなどマルチメディア教育設備も設け、スピーチコンテストやイングリッシュドラマ等語学教育に効果を上げています。これらのPCは学内LANやインターネットに接続され、情報収集手段として、また教員とのコミュニケーション手段としてきめ細かい指導に使用されています。

本センターはこの他に、教育・研究活動を支援するために学内有線LANと無線LANの設備、そのインターネット接続などのネットワークシステムを運用しています。無線LANは、寝屋川キャンパスの図書館(10号館1・3階)や談話室(5号館1階)など12ヶ所で、また枚方キャンパスにおいては談話室や自習室(3号



◀CALL教室



小スタジオ▶

館地下1階・1階、7号館1階・2階など7ヶ所(下の「無線LANエリア」ステッカーの貼っている場所)で利用することができます。



これらの情報教育施設は、2015年4月に最新の機器に更新する計画で、無線LANの増設や新たにアクティブラーニングにも対応した設備を導入する予定です。

また、2014年度から新しい学生支援システムを導入し、学生向け情報サービスシステムとしてポータルサイトが稼働しています。このポータルサイトは、大学からのお知らせや講義連絡、履修時間割など大学生活に必要な情報が掲載されており、学内の情報教育施設から利用できるだけでなく、自宅のパソコンやスマートフォンからも利用できます。



学生ポータルサイト

研究支援

科研費、新規+継続採択者数は過去最多の90人となりました

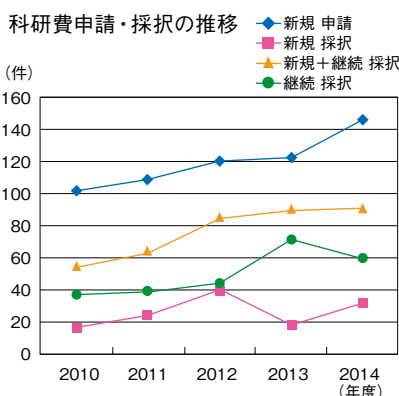
研究支援センターでは、摂南大学に在籍する教員の研究が充実するよう支援することを目的とし、その成果を広く社会に還元していく業務を行っています。科学研究費助成事業(※)として、今年度145人の研究代表者の応募があり、新規+継続採択者は90人となりました。

図のごとく右肩上がりです、研究が活性化し質的にも非常に良くなっています。

2014年度の科学研究費助成事業の配分額は1億2558万円です。

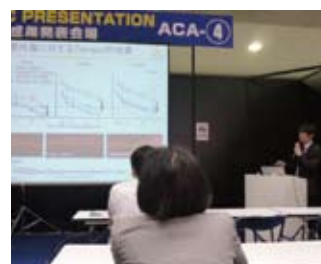
本センターは今後も本学の研究活動を総合的に支援してまいります。

(※)科学研究費助成事業(科研費)とは？
人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」(大学等の研究者の自由な発想に基づく研究)を対象とした唯一の「競争的資金」です。



BIO tech 2014 アカデミックフォーラムで本学の教員が研究成果を発表しました

5月14日(16日、東京ビッグサイトで開催された「BIO tech 2014 アカデミックフォーラム」において、5月15日、本学の教員が研究成果を発表しました。このイベントは、創薬・医療/診断技術バイオにおいて大学・国公立研究所の研究者が、口頭発表やポスター展示を通して、研究成果を発表を行う場です。



研究発表者
薬学部薬学科 山口太郎 助教
「感音難聴治療薬の開発への挑戦—カルバインをターゲットとして—」

2013年度 決算書

1 一般会計

(収入の部)

(単位:円)

項 目	予 算(a)	決 算(b)	差異(a-b)
教育振興会援助金	46,392,000	46,254,000	138,000
貸付金回収収入	2,866,000	2,426,000	440,000
利息収入	0	0	0
雑収入	0	0	0
前年度繰入金	38,181,398	38,181,398	0
特別会計よりの繰入金	0	0	0
収入合計	87,439,398	86,861,398	578,000

(支出の部)

(単位:円)

項 目	予 算(a)	決 算(b)	差異(a-b)
広報費	6,033,000	4,935,670	1,097,330
役員・教職員懇談会費	1,800,000	1,675,690	124,310
教育懇談会費	14,470,000	11,582,058	2,887,942
慶弔費	500,000	140,000	360,000
教育活動援助費	32,277,000	26,857,523	5,419,477
課外活動援助費	17,900,000	17,178,234	721,766
就職関係費	4,740,000	3,003,580	1,736,420
特別設備費	0	0	0
人件費	3,600,000	3,185,802	414,198
会議費	3,250,000	2,513,194	736,806
事務費	1,310,000	1,044,749	265,251
海外語学研修等貸付金	0	0	0
就学支援対策費	0	0	0
予備費	1,559,398	0	1,559,398
次年度繰越金	0	14,744,898	△14,744,898
支出合計	87,439,398	86,861,398	578,000

(貸付金の部)

(単位:円)

前年度貸付 繰越残高	収入 (返済)	支出 (貸付)	貸付 繰越残高	備 考
3,286,000	2,426,000	0	860,000	2013年度完済者14名

2 特別会計

(収入の部)

(単位:円)

項 目	予 算(a)	決 算(b)	差異(a-b)
前年度繰入金	72,044,217	72,044,217	0
利息収入	4,000	3,989	11
一般会計よりの繰入金	0	0	0
収入合計	72,048,217	72,048,206	11

(支出の部)

(単位:円)

項 目	予 算(a)	決 算(b)	差異(a-b)
次年度繰越金	72,048,217	72,047,471	746
残高証明書発行手数料	0	735	△ 735
一般会計への繰入金	0	0	0
支出合計	72,048,217	72,048,206	11

2014年度 秋期 教育懇談会のご案内

ご家庭と大学をつなぐ連携の一つとして、教育懇談会では保護者と各学部の先生がご子女の修学状況、学業成績、大学生活、就職問題などについて、個別に懇談をしていただく機会を提供しています。

6月14日に開催した春期教育懇談会では、寝屋川・枚方合わせて567組755名の保護者の方にご参加いただきました。秋期教育懇談会では、本学(寝屋川・枚方)会場にくわえて、学外8会場で開催いたします。

詳細については、8月に送付いたしました案内状、または本学ホームページをご確認いただきますようお願いいたします。

本学HP 後援会ページ

<http://www.setsunan.ac.jp/family/kouenkai/education.html>

2014年度 開催スケジュール

10/11 本学【寝屋川】	10/25 本学【枚方】	11/9 岡山
10/18 難波	10/26 福岡	11/15 京都
10/19 奈良・松山	11/8 米子	11/16 金沢

後期分学費の納入について

※このご案内は既に前後期一括納入されている方については対象外です。

①納入期限

10月6日(月)

②納入方法

本学より郵送する所定の学費納入票により、銀行振込みにてお願いします。

③納入期限後の取扱い

納入期限までに納入されない場合は、除籍となります。ただし、各納入期限後1カ月の猶予期間を設けており、この期間内に納入された場合は除籍なりません。

納入にあたってのお願い

銀行等の窓口で、必ず同封の「振込依頼票」によりお振込ください。

ATM(現金自動預け払い機)、ネットバンキング等による振込みはできません。

提携教育ローンについて

本学では、一般金融機関からの借入より優位な条件で借入できる「提携教育ローン」の制度を設けており、在学生であれば利用することができます。

このローンは、在学中の元本の返済の据え置きなど経済状況に応じた返済をすることができます。

申込手続きについては、お問い合わせ先に直接ご確認ください。(大学では回答できません)

【お問い合わせ先】

- ・(株)オリエンコーポレーション 0120-517-325
- ・(株)ジャックス 0120-338-817

学費納入に関するQ&AをHPに掲載しています。

在学生の学費納入についての問い合わせは会計課までお願いします。

会計課連絡先(平日9~17時)

072-839-9103

後援会長 挨拶

保護者の皆さまには、日頃より摂南大学後援会の活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。2014年度より、後援会会長になりました奥田と申します。



後援会会長
奥田 明弘

後援会は、大学と家庭との連携を密にし、より良い教育環境の提供を目指し、5つの事業に取り組んでいます。中でも重点的に取り組んでいます教育懇談会については、ご子女の様子を担当の先生から直接聞くことのできる貴重な機会です。この機会に是非ともご出席いただき、日々の不安を解消いただくとともに、参加者同士の情報交換の場としてもご活用いただければと思います。就職状況についても大学の就職担当職員がご相談をお受けしますので、ぜひご利用ください。

保護者の皆さまには、今後とも後援会活動の趣旨をご理解いただくとともに、各種行事への積極的なご参加をお願い申し上げます。

2014年度 事業計画

1	大学と家庭との連絡提携	広報誌作成費の一部援助、成績表の送付
2	教育懇談会の実施	春期・秋期2回開催（秋は学外でも実施）
3	教育に対する援助	各種資格試験に対する受験料を援助
4	学生の課外活動に対する援助	部活動に対する援助、摂大祭開催に伴う援助
5	就職活動に関する援助	保護者向け就職支援冊子の作成費援助、保護者向け就カツセミナーの開催

2014年度 後援会

総会・歓送迎会を開催しました

2014年度後援会総会を5月31日、寝屋川キャンパス1243教室で開催しました。開催に先立ち、藤澤会長の挨拶の後、議長に松田育子副会長が選出されました。①2013年度事業報告および収支決算の件、②2014年度役員選任の件、③2014年度事業計画および予算の件について議案の審議が行われ、いずれも原案どおり承認されました。2014年度の三役は、下記のとおり選出された他、新たに22名の新役員候補者が承認され、計78名の新運営体制が整いました。

同日開催した「役員歓送迎会」では、新旧役員62名と、本学からは今井学長をはじめ各学部長など役職者31名が出席し、大学の近況を話題に歓談しました。開催に先立ち、今井学長からこれまでの活動に対するご尽力に感謝の意を表し、感謝状と記念品が贈呈されました。



2014年度 新三役（※敬称略）

会長	奥田 明弘（理工学部4年次）
副会長	松本 由紀子（薬学部5年次）
副会長	藤信 英嗣（理工学部4年次）
副会長	牛島 弥江（薬学部4年次）
副会長	赤井 義則（外国語学部4年次）
副会長	藤村 泰功（看護学部3年次）
監事	白澤 順子（経営学部4年次）
監事	細見 ななみ（経済学部3年次）

表彰者（※敬称略）

藤澤 英邦（薬学部）
松田 育子（薬学部）
杉村 友美（薬学部）
菊池 純顕（法学部）
白石 章子（法学部）
長谷部 幸子（経営学部）
吉村 菊江（経済学部）

2014年度 後援会予算 予算書

1 一般会計

(収入の部)		(支出の部)		(単位:円)
項目	当年度予算	項目	当年度予算	
教育振興会援助金	48,084,000	広報費	5,530,000	
貸付金回収収入	640,000	役員・教職員懇談会費	2,000,000	
利息収入	0	教育懇談会費	13,905,000	
雑収入	0	慶弔費	475,000	
前年度繰入金	14,744,898	教育活動援助費	24,998,000	
特別会計よりの繰入金	3,700,000	課外活動援助費	6,825,000	
		就職関係費	4,740,000	
		人件費	3,400,000	
		会議費	3,175,000	
		事務費	1,185,000	
		予備費	935,898	
		次年度繰越金	0	
収入合計	67,168,898	支出合計	67,168,898	

2 特別会計

(収入の部)		(支出の部)		(単位:円)
項目	当年度予算	項目	当年度予算	
前年度繰入金	72,047,471	次年度繰越金	68,350,715	
利息収入	4,000	残高証明書発行手数料	756	
		一般会計への繰入金	3,700,000	
収入合計	72,051,471	支出合計	72,051,471	

2014年度の後援会事業は、学園の教育振興会援助金の見直しに伴って、昨年度に引き続き後援会の援助事業の一部を大学の援助事業に振替えるなど見直しを行いました。

後援会では大学広報誌作成に係る援助、教育懇談会の開催、保護者向け就職セミナーの開催など、大学とご家庭の橋渡しとなるような活動を行ってまいりますので、引き続き会員の皆様のご支援、ご協力をお願いします。

入試

インフォメーション

2015年度 公募制推薦・一般入試
は、出願を完全ネット化します。

「お問い合わせ先」

入試部

(寝屋川キャンパス7号館7階)

TEL:072-839-19104

TOPICS

特別奨学金制度

「一般入試 前期A日程」および
「大学入試センター試験利用入試
前期」における入試成績優秀者を
特別奨学生として認定します。

「一般入試 前期A日程」は、「年
間授業料の半額相当額」を入学
初年度に限り給付します(全学
部合計で延べ280人認定)。

「大学入試センター試験利用入
試 前期」は、「年間授業料相当額」
を入学初年度に限り、給付します
(全学部合計で延べ47人認定)。

国公立大学と併願しやすい

入試環境を整備

「大学入試センター試験利用入
試 前期」は、国公立大学(前期)の
合否発表を確認してから入学手
続時納入金の納入が可能です。
で、入学金が無駄になりません。

入試区分		募集学部	試験日	出願期間	合否発表日	
公募制推薦入試	A日程	全学部	11月1日(土)	[インターネット] 10月8日(水)～10月22日(水)	11月12日(水)	
		法学部 外国語学部 経済学部 経営学部 理工学部 住環境デザイン学科	11月2日(日)			
	B日程	全学部	11月30日(日)	[インターネット] 11月1日(土)～11月21日(金)	12月10日(水)	
一般入試	前期	A日程	全学部	[インターネット] 12月24日(水)～1月19日(月)	2月13日(金)	
		AC方式	一般入試 前期A日程と同じ センター試験プラス方式 [一般入試 前期A日程+センター試験]			
		B日程	法学部 外国語学部 経済学部 経営学部 理工学部 住環境デザイン学科	2月9日(月)	[インターネット] 12月24日(水)～1月30日(金)	2月20日(金)
			全学部	2月10日(火)		
		BC方式	一般入試 前期B日程と同じ センター試験併用方式 [一般入試 前期B日程+センター試験]			
	後期	全学部	3月7日(土)	[インターネット] 2月13日(金)～2月27日(金)	3月17日(火)	
	大学入試センター試験 利用入試	前期	全学部	本学独自の学力試験等は課しません。	[インターネット] 12月24日(水)～1月27日(火)	2月13日(金)
後期		全学部	本学独自の学力試験等は課しません。	[インターネット] 2月13日(金)～3月4日(水)	3月17日(火)	

※インターネット出願期限日の翌日のみ、本学入試部(寝屋川キャンパス)にて出願書類の受付のみを行います。(9:00～17:00)

※2月9日(月)の理工学部住環境デザイン学科は、「一般入試 前期BC方式」の募集はありません。

数字で証明する摂南大学の實力

一人ひとりに似合う、7学部13学科の総合大学として、少人数・実践教育を続ける摂南大学。
大学の實力は、ビジネス誌を始めとした各種ランキング調査で証明されています。
摂南大学が持つ強みと人気の理由についてご紹介します。

希望の就職を実現

毎年全国トップレベルの就職率と就職満足度を誇っています。
これを支えているのは早期からのキャリア教育に加え、就職部と教員が連携したバックアップ体制。
きめ細かな個別支援を入学時から進路決定まで粘り強く実施しています。

実就職率

(大阪府)

大阪
私立総合大学
第1位



※サンデー毎日 2014年7月27日号(大学通信調べ)より。
※実就職率(%)は、就職者数÷[卒業(修了)者数-大学院進学者数]×100で算出。

女子学生実就職率

(大阪府)

大阪
私立総合大学
第1位

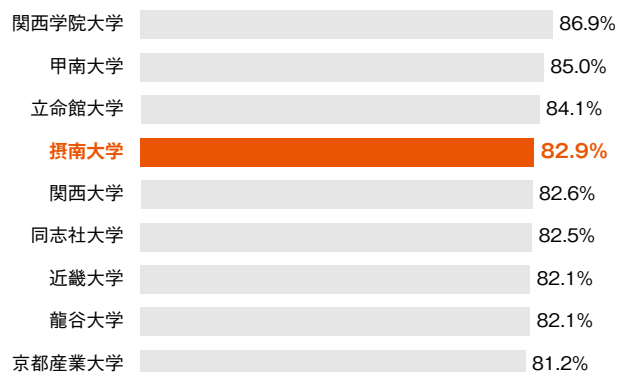


※サンデー毎日 2014年7月27日号(大学通信調べ)より。
※実就職率(%)は、就職者数÷[卒業(修了)者数-大学院進学者数]×100で算出。

実就職率

(近畿地区)

近畿
主要私立総合大学
第4位



※サンデー毎日 2014年7月27日号(大学通信調べ)より。
※実就職率(%)は、就職者数÷[卒業(修了)者数-大学院進学者数]×100で算出。

就職部からのメッセージ

偏差値の高い大学 ≠ 就職率の高い大学

大学卒業後の進路(就職)の良し悪しは「どれだけ偏差値の高い大学に入学できたか」で決まるものではありません。「どんな大学に入ったか」ではなく「そこ(大学)で何をしたか」、すなわち「学生生活をどれだけ充実させることができたか」で決まると考えています。

本学では、低年次から全学をあげて取り組んでいるキャリア教育、PBLなどの多彩な体験型プログラム、学部の特長を生かしたインターンシップなど、様々なキャリア形成支援プログラムを用意し、充実した学生生活の実現をサポートしています。また、就職活動段階においては、毎月の就職支援行事のほか、1対1の徹底的な個別支援を行うなど、中規模総合大学ならではの手厚い支援を全力で行っています。

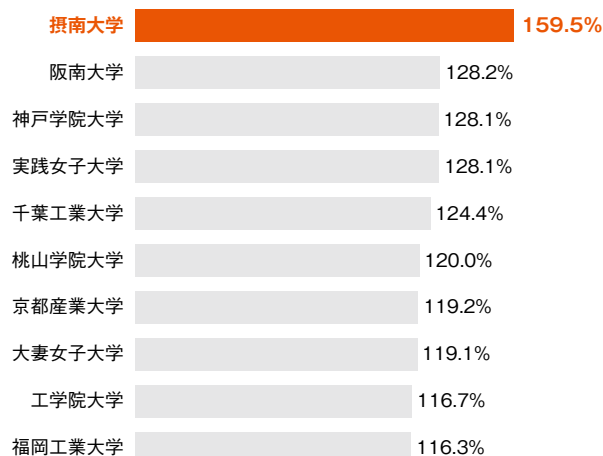
これらの結果が、近畿地区屈指の高い就職率の実現につながっていると考えています。

全国トップレベルの入試実績

近年、多くの受験生から支持されており、7年連続志願者数が増加しています。
2014年度入試では過去最高の志願者数を記録し、なかでも、一般入試志願者増加率では全国第1位、志願者増加数も全国第3位に輝きました。

志願者増加率

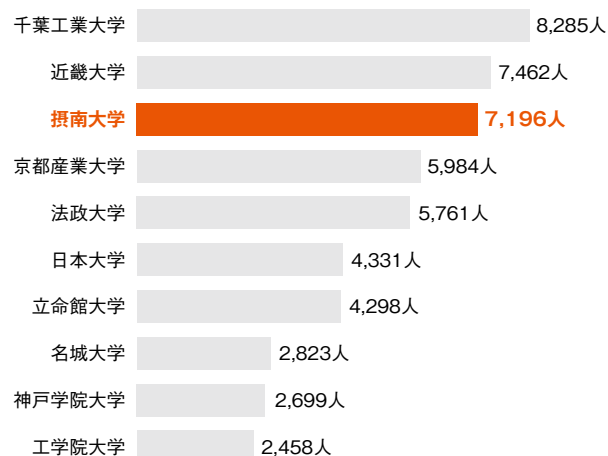
(一般入試)



※週刊朝日「変わる私大勢力図」2014年4月4日号より。

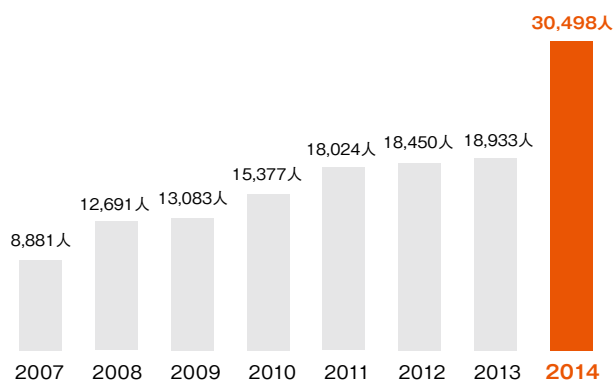
志願者増加数

(一般入試)



※週刊朝日「変わる私大勢力図」2014年4月4日号より。

総志願者数



入試部からのメッセージ

時代のニーズに合った学部構成が、大きな追い風に。

2014年度入試で本学は、ほぼすべての入試方式で志願者数が増加し、志願者総数が初めて3万人を突破しました。中でも18歳人口が前年比5万人減少する中で、人気のバロメーターである実志願者数が13.4%も増加したことは特筆できます。新聞、週刊誌等で「志願者数増加率、全国第1位の大学」として取り上げられるなど、大いに注目を集めました。

志願者数が大幅に増加した要因は、直接的には「7年ぶりの入試制度改革」など、上位大学を徹底的に意識した入試戦略が奏功したことです。一方で、受験生の理系人気、資格志向、グローバルに関わる学部人気は、時代のニーズに合った学部構成の本学にとって大きな追い風となりました。

“キャリアに対して安心感のある知的で明るい総合大学”という本学のイメージが、受験生・保護者・高校教員に徐々に浸透しています。

Excellence of Setsunan University

少人数教育

近畿
主要私立総合大学
第1位

本学の特長の1つが少人数教育です。

少人数教育を示す1つの指標が「教員1人あたりの学生数」です。これは教員1人につき何人の学生を担当するかを表し、少ない数値ほど1人ひとりの学生を大切にしたいきめ細かな教育が行われていることを示します。本学は近畿地区における主要私立総合大学のうち、最も少ない数値となっており、教員1人あたり26.2人です。

また、1年次から1クラス10人程度の「少人数ゼミ」または「担任制」を導入。教員や仲間との距離が近い環境を用意し、密度の濃いディスカッションや交流を通して、コミュニケーション能力や人間性を磨くことが可能となっています。

さらに、年2回の成績表交付時には、学生1人ひとりと個別面談を行い、学業や大学生活における相談に対応しています。

このように本学では1人ひとりの学生を大切にしたいきめ細かな教育を実施しています。

教員1人あたりの学生数

摂南大学	26.2人
立命館大学	28.4人
京都産業大学	31.3人
甲南大学	32.2人
神戸学院大学	33.1人
近畿大学	35.8人
関西学院大学	36.8人
龍谷大学	37.2人
関西大学	38.6人
同志社大学	39.0人
追手門学院大学	42.0人
桃山学院大学	46.0人

※読売新聞「大学の實力2015」より。
※医学部を除く。

グローバル人材養成

全国
トップ
クラス

社会のグローバル化が進む中、本学ではグローバル社会に対応した人材の養成にも力を入れています。

特に、JICA（国際協力機構）の青年海外協力隊事業への貢献に積極的に取り組んでおり、様々なサポート体制を用意しています。その結果、青年海外協力隊への現役学生合格者は8年間で累計32人にのぼり、全国トップクラスの実績を誇っています。

また、この他にも様々な海外派遣プログラムも用意しています。アメリカ、韓国、タイ、インドネシア、ベトナムなどのほか、外国語学部では、イギリス、スペイン、マレーシア、インドネシア、中国、オーストラリア、ニュージーランド、カナダ、アメリカ、メキシコの協定校にも留学することが可能となっています。

さらに、2014年度からは、米国フロリダ州のウォルト・ディズニーマー・ワールド・リゾートにおける長期の有給インターンシップを核としたプログラムを開始しました。これは、世界的に人気の高いディズニー・ワールドで働きながら、提携校のロリンズ大学で講義を受講することにより、単位が授与される人気のプログラムです。

これからさらに新しいプログラムを用意し、グローバル社会で活躍できる人材の養成に力を入れていきます。



青年海外協力隊 2008・2009年度 ベナン共和国（アフリカ）青少年活動



Home coming day

京セラドーム大阪で ホームカミングデイ「All 摂南大学Day」を開催



©ORIX Buffaloes

卒業生家族による選手への花束贈呈

今年の「All 摂南大学Day」は9月6日、京セラドーム大阪にて行われました。これは摂南ファミリー（卒業生・在学生・受験生とご家族、関係者）が交流を深め合うホームカミングデイとして、本学と教育協定を締結しているオリックス・バファローズのプロ野球公式戦に集うイベントで、今年で4回目の開催になります。

試合前のオープニングでは、卒業生による始球式やご家族による選手への花束贈呈、また、子ども向けのイベントとして「スタメンキッズ」や「ボールボーイ」を実施。球場ビジョンには大学紹介の映像も流れ、参加者は大学への思いを胸に、大いに盛り上がる一日となりました。

さ や け き

「さやけき」とは

「清けき」と書き、明るい、清々しい、清く澄んでいるなどの意味を表します。大学歌に「学風さやけき摂南の」という詞があるとおり、本学の明るく、若さあふれる清々しいイメージを象徴する言葉です。

表紙の人

〈左から〉椿 佳悟さん、
大城一真さん、久保亜弓さん、
寺澤 岬さん、遠藤百華さん

2015年に創立40周年を迎える本学は、みなさんに“いま”と“これから”の摂大を伝えるべく、学生スタッフとともに大学のプロモーション映像を制作しています。公開は11月から摂南大学ホームページにて。表紙の5人は出演スタッフです。



Smart and Human

常翔学園

摂南大学

■法学部 ■外国語学部 ■経済学部 ■経営学部 ■理工学部
■薬学部 ■看護学部 ■大学院

発行日：2014(平成26)年9月30日

発行：摂南大学 企画課

〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町17-8

T E L : 072-839-9450

U R L : <http://www.setsunan.ac.jp>